

不死之藥

『韓非子』

有_下獻_二不死之藥於荊王_一者_上。謁者_レ操_レ之以入。中射之士問曰「可_レ食乎」。曰「可_レ」。因奪而食_レ之。王大怒、使_三人殺_二中射之士_一。中射之士使_二人說_レ王曰、「臣問_二謁者_一。謁者曰『可_レ食』。臣故食_レ之。是臣無_レ罪而罪在_二謁者_一也。且客獻_二不死之藥_一、臣食_レ之而王殺_レ臣、是死藥也。是客欺_レ王也。夫殺_二無罪之臣_一而明_二人之欺_レ王也_一。不_レ如_レ釈_レ臣_一。王乃不_レ殺。

不死の薬を荊王に献ずる者有り。謁

者之を操りて以つて入る。中射の士問

ひて曰はく、「食らふ」。

と。曰はく、「可なり。」と。因りて奪

ひて之を食らふ。王大いに怒り、人

（中射の士を殺さ）

んとす。中射の士人（王に

説か）て曰はく、「臣謁者に問ふ。

謁者曰はく、『食らふ』と。

臣故に之を食らふ。是れ臣は罪無くして

罪は謁者に在るなり。（客不死の

薬を献じ、臣之を食らひて王臣を殺さ

（是れ死薬なり。是れ客王を欺く

なり。（無罪の臣を殺して人の王

を欺くを明らかにするなり。臣を釈す

（）と。王乃ち殺さず。

不死の薬を荊王に献上する者がいた。

取り次ぎの役人が、その薬を持って宮廷の中に入れて行った。宮中警備の兵士が尋ねて言た「食へる」

と。（）が言うには、

「食へる」

（）は薬を奪って食ってしまった

った。王は大変に怒り、役人（警備の兵

士を殺（）ようとした。警備の兵士は

人（王に説明（）て言た「（）は

取り次ぎの役人に尋ねました。役人は言

いました『食へ』と。（）は

（薬を食ったのです。これは（）

には罪が無く罪は役人の方にあるといふこ

とです。（）客が不死の薬を献上し

（）がそれを食って王が（）を殺したと

なると、死の薬です。これは客が王をだま

したことになります。（）罪の無い

（）を殺して、人（王をだましたこと

を明らかにする行為です。（）を許す

（ですよ。」と。王は（）警

備の兵士を殺さなかつた。